



氷川町の魅力を発信! いきいき感謝祭2019(竜北東小学校起業学習)

1月19日(土)、竜北東小学校において「いきいき感謝祭2019」が開催されました。

竜北東小学校では、起業家の精神と資質を持つ人材の育成を目指す「起業家教育」の取り組みとして、本年度「竜北いきいきカンパニー」を社名として起業し、氷川町の魅力を知り、それらを発信する方法を学習してきました。

今回のイベントはその集大成となるもので、体育館や各教室で、児童たちの考えた氷川町の魅力あふれる商品の販売や、活動報告が行われました。

○6年生(魅力発信課)

氷川町の魅力を発信するために、体験活動などを通じて町の知識を深めました。



▲QRコード入りの町の魅力を描いた絵タブレット等でQRコードを読み込むと、町の名所や特産物の説明を見ることができます。



▲PR動画コーナー
動画やパンフレットを使って氷川町のことを児童が説明していました。広報担当者も驚く知識と上手な説明でした。



▲古墳ケーキ制作の実演
モニターを使って会場での制作実演。来場者も多数足を止めていました。レシピ本も手作りです。



▲古墳ケーキ
八代地域農業協同組合さんのご協力のもと児童の発案で完成したケーキ。購入希望者が多く、抽選での販売となりました。



▲「自然美しい氷川町」パンフレット
児童手作りの氷川町パンフレット。特産物や観光名所、古墳について詳しく書かれています。

○5年生(食文化創造課)

白玉屋新三郎商店さんと農家さん、八代農業高校の協力のもと、氷川町の食について学びました。



▲白玉入り甘酒の販売
児童がもち米から作った白玉入りの甘酒。様々な味の白玉が入っており、とても美味しく温まりました。

○4年生(環境課)

氷川町の環境について学び、自分たちのできる環境づくりを考えました。



▲牛乳パック再利用の販売
牛乳パックを使い作成した包装紙・友禅紙を貼ったティッシュケースなどを販売しました。

○1・2・3年生の取り組み

3年生は氷川町の特産物について、1・2年生は地域の農家さんの協力のもと農業について学びました。また、梨とランの「応援うちわ」の製作にも携わりました。



▲活動をまとめた資料の掲示
聞き取り調査した内容や児童の感想が分かりやすく掲示されていました。児童お手製の氷川町の特産物クイズも掲載されていました。

たすきに心をつないで 八代郡代表選手団が健闘! 熊日都市対抗女子駅伝 都市対抗熊日駅伝

毎年1月から2月にかけて開催される熊日駅伝大会では、県内の郡市が郷土を代表して熱いレースを繰り広げます。

大会に先立ち、1月17日(木)に文化センター講堂において、八代郡代表選手結団式を行いました。

坂本正八代郡体育協会会長から激励のあいさつがあり、選手を代表して山本柝介さん(八代東高2年・高塚)と山本茉莉花さん(竜北中2年・高塚)が選手宣誓を行い、健闘を誓いました。

八代郡代表として1町となり、近年は苦戦を強いられています。ここ数年で高校生の陸上部員が増えてきており、今後のさらなる躍進が期待されます。選手たちは大会に向けて一生懸命練習に励みました。

郷土の誇りを胸に力走

1月27日(日)に開催された第36回熊日都市対抗女子駅伝大会では、19郡市の代表が出場し、7区間28.4kmを懸命にたすきをつなぎました。

結果は、他のチームに負けないチームワークを見せ、前回大会から4つ順位を上げて14位となり、タイムも約3分縮めて見事躍進賞を受賞しました。

また、2月10日(日)に開催された第45回都市対抗熊日駅伝大会では、同じく19郡市の代表が出場し、14区間106.5kmを男子チームがたすきをつなぎました。結果は19位でしたが、昨年よりも38分もタイムを縮めるなど、次につながる大会となりました。



▲女子駅伝スタート



▲結団式の様子 一生懸命頑張ります



▲躍進賞を受賞した女子駅伝チーム



▲男子駅伝スタート